

千葉県中小企業団体事務局責任者協会機関紙

# 事務局責任者協会だより

発行 千葉県中小企業団体事務局責任者協会  
住所 千葉市中央区千葉港4-2  
千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部内  
TEL 043-242-3277 FAX 043-247-8410

第6号



意見情報交換会

### 意見情報交換会が開催されました

事務局責任者協会だよりの第6号を刊行できましたことを、関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

さて、去る7月7日、千葉県中小企業会館3階会議室において「中央会との意見・情報交換会」を開催いたしました。

中央会の各部署からは「平成22年度支援活動」の説明があり、協会出席者からは「組合運営の現状及び課題」について貴重なご意見を頂きました。

各組合の構成員企業における経営環境が厳しさを増す中、組合として従来の共同事業だけではなく、組合が今後果たすべき役割を意識しながら、新たな事業構築等に取り組もうとしている現況報告等が行われました。

今回行われた「意見・情報交換会」が、それぞれの組合が抱える事情・背景は異なるものの、中小企業組合運動の担い手である組合事務局責任者の方々の新たなネットワーク作りの一助になればと思います。

責任者協会の事務局といたしましても、頂いたご意見を基に、会員組合の皆様への支援に繋がる研究会や情報提供等を行っていき所存ですので、今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

## 小湊妙の浦遊覧船協業組合

事務局長 広瀬 捷征

### 【組合の概要】

所在地 鴨川市小湊183の8  
TEL 04-7095-2318  
設立 昭和29年12月 小湊妙の浦遊覧船企業組合として設立  
昭和47年7月 小湊妙の浦遊覧船協業組合に組織を変更  
理事長 松本 鶴松  
組合員 259名(平成22年3月末)  
出資金 41,440千円  
主な事業 小湊妙の浦のたい見物に対する旅客の海上輸送・特別天然記念物妙の浦鯛生息地の保護及び維持管理・観光施設の運営事業

### 【沿革】

鯛の保護について

西暦1222年2月16日、日蓮生誕のときに清水が湧き、時ならぬ蓮華の花が咲き、海上には鯛が群れたと言われてきました。人々はこれを「三奇瑞」と呼び、また、鯛を日蓮の生まれ変わり信じ、保護してきました。

明治36年6月、千葉県政が敷かれました。当時の誕生時貫主日慈上人が、小湊区長、区議会議員を伴って鯛の浦の鯛の保護について陳情したのが、行政による保護活動の始まりとなりました。度重なる陳情に、千葉県が国に対し鯛の保護を陳情した結果、大正11年3月、内務大臣より史跡名勝天然記念物鯛の浦タイ生息地として指定されました。その後、昭和42年12月には、文化庁長官より特別天然記念物鯛の浦タイ生息地として指定されました。

こうして、現在に至るまで780年以上の間、鯛の浦は聖地として守り続けられてきたのです。

### 事業活動

当組合では主に、遊覧船によるたい見物の海上輸送と、併設の鯛の浦会館内での展示物の見学案内を行っております。昭和40年代には50万人を超える乗船客がありました。ここ数年は10万〜12万人で推移しています。年間イベントとしては、毎年元旦に小湊旅館協業組合と協力して、洋上初日の出船を運航しており、好評を博しております。また、今年度は、新たに花火大会(毎年8月16日)に合わせて、ナイトクルージングを実施します。定員は2隻で、80名を予定しております。詳しくは、鴨川市観光協会天津小湊支部(電話04-7095-2218)にお問い合わせ下さい。

※本組合ホームページ

(<http://www.tainoura.jp/>)

もご覧ください。是非ご覧ください。



遊覧船と鯛の浦会館

## 千葉県板金工業組合

事務局長 矢代 健雄

### 【組合の概要】

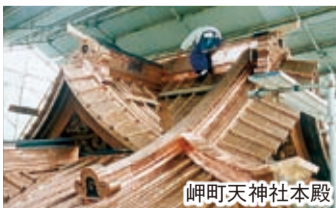
所在地 千葉県夷隅郡大多喜町原内130の1  
設立認可 昭和42年8月14日  
理事長 磯野 恒夫  
組合員 21支部 185名  
主な事業 教育指導・情報又は資料収集提供・調査研究・組合員従業員からの福利厚生・物資の斡旋等事業  
当組合は、多くの支援機関や関係団体と積極的に連携を図り、組合員の経営力向上と新規組合員の増加を目指して、様々な情報提供事業を行っております。

その一端として、今年2月、第42回千葉県板金大会(於：鴨川グランドホテル)を開催し、組合員や取引先・来賓180名と共に、業界発展による社会貢献、融和団結、並びに不況克服を誓うとともに、功績のあった組合員に対する顕彰を実施し、併せて、建築板金の現況や新機材・器具等についての情報提供を行いました。

同時に第27回銅板加工作品美術展を併設し、優秀作品に対しては、知事賞などの表彰状が贈られる等、出展者にとって、講習会・勉強会で習得した技術の成果を表現する場として、年々関心が高まっており、板金大会とともに大きな組合事業となっております。又、熟練技能を育成する観点から、基幹技能者の有資格者に対して特別講習を行い、36名が基幹技能者の資格を取得しました。また、千葉県技能祭(於：ポリテクセンター千葉)では30名が花瓶製作に挑み、優秀な作品を作り上げる等、様々な形で技能向上を支援しております。

最近では、①責任施工・保証制度活用増進、②福利厚生事業の充実、③各地・各種イベントへの積極的参加・出展、④組合員のホームページ開設を助成し、仕事の確保につなげる、という事業方針が確立されるとともに、各委員会の活躍も大きく、事業運営も年々充実し、組合に対する意識が高揚してきております。例えば、先日開催した青年部主催の支部対抗ボウリング大会では70名もの多くの人に参加していただき、組合員家族とも一日和気あいあいの盛大な大会となりました。

本年も依然として厳しい環境の中、課題克服に向けスピーディに対応し、業務の改善を実行して参りますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。



岬町天神本殿



千葉県技能祭

## アイ・ティー・関東事業協同組合

事務局長 田代 孝久

### 【組合の概要】

所在地 千葉市花見川区犢橋町858の1  
 設立認可 平成15年12月4日  
 理事長 齋藤 成弘  
 組合員 19社  
 主な事業 貨物利用運送事業・情報システムの研究開発  
 運送事業用の共同購買・ETCコーポレートカードの共同利用事業・事務代行事業



### 【沿革】

当組合は、デフレ経済の影響をまともに受けた平成15年12月に、組合員相互がIT技術を持ち寄り、運送業界に合った情報システムを作り上げ、精度の増した管理を図ることを趣意とし、設立されました。  
 その後平成17年1月より、運送経費（高速道路通行料）の削減を目的に「ETCコーポレートカードの共同利用事業」の運営を始めました。現在ではこの事業が組合経営の中核を占めております。

### 【主な活動】

#### 経営革新活動

1. 大森運送株式会社（本社：広島県呉市）の運行管理システムの構築  
 大森運送さんは全国に数箇所の支店を有する運送会社でしたが、当時の運行状況は、支店単位で、しかも運行管理者の手書きの情報によって、管理されておりました。この運行管理をシステム化することにより、本社を含めた各支店を情報のネットワークで結び、情報を共有出来るようにしました。その結果、配車及び運行管理の一元化が実現され、経営の合理化に大きく貢献することができました。当組合はそのお手伝いをいたしました。

2. 大栄陸運株式会社（本社：千葉市花見川区）の運行管理の見える化システムの構築  
 大栄陸運さんは、運行中の貨物の状態をトラックに設置したカメラを通して、運行管理者だけではなく荷主さんにも確認できる、インターネットを活用した運行管理システムの構築に取り組んでおり、当組合もそのお手伝いをしております。

#### 経営革新の普及活動

1. 中小企業新連携推進大会（H21年10月 千葉県中小企業団体中央会主催）  
 第2分科会「時代に求められる中小企業とは」に当組合代表理事・齋藤成弘（大栄陸運社長兼務）がパネラーとして参加いたしました。

2. 秋田県中小企業団体中央会主催の勉強会（H21年10月～12月）に当組合が講師として招かれ、業務改善のための経営革新活動について、特に「物流事業におけるIT化」に付き、具体的事例をあげて講演を行ってきました。

## 千葉県自動車車体整備協同組合

事務局長 高橋 博

### 【組合の概要】

所在地 佐倉市宮本字手洗199  
 TEL 043-483-7751  
 設立 昭和58年3月  
 理事長 鈴木 正一  
 組合員 183名  
 出資金 469万円  
 主な事業 共同購買事業、教育情報事業、福利厚生事業

当組合は、千葉県内で自動車の車体整備業を営む優良事業者が加盟する団体です。

当業界は少子高齢化、若者の自動車への関心度低下などにより事業の対象となる自動車台数が減少傾向にあり、各事業所においては在庫量の確保と共に、社会的関心が増している環境保全に配慮した経営に向けて取り組んでおります。

自動車は、我々が生活や経済活動をする上で不可欠であり、私も組合員には事業を通じて自動車の利便性を維持することや循環型社会の形成に貢献することなどが求められております。自動車の整備を効率良く行い、適正な品質と価格で安全・安心のサービスを提供するために、電気自動車やハイブリッド車など新しい構造や機能を持った自動車にも対応できるように、常に最新の商品知識や整備技術をも身につけることが不可欠であり、事務局としてはタイムリーな研修を心掛けています。昨年度は労働安全衛生のため開催した「ハイブリッド車取扱作業」講習を260名が修了し、殆どの組合員事業所でハイブリッド車を扱う体制が整いました。

組合運営については、組合員事業所の経営者高齢化、後継者難、在庫量減少などにより、事業規模の縮小などで退会を余儀なくされるケースや今後の事業経営に不安を抱いている組合員事業者がいます。

このことを踏まえて、「将来の事業所モデル」を研究・提案する活動に取り組み、これによって、実効性のある支援メニューを再構築する計画です。

また、運営資金については賦課金収入の不足分を補える新たな事業の展開が課題となっており、従来からの共同購買事業、教育情報事業、福利厚生事業などに加え、集客ツールの開発・研究などの事業を推進する計画です。

私も車体整備事業は「環境対応型ビジネス」の一つとして、省資源、CO2削減など社会的要請も高まっており、これに応えられる様に組合員が丸となって取り組んでまいりますので皆様のご支援を宜しくお願い致します。

なお皆様のご支援を頂ける様、ホームページ (<http://chiba-autobody.com>) 上に最新情報を掲載しておりますので、ご利用いただきたくお願い致します。



## 事務局からのお知らせ

本協会における今後の活動についてご連絡いたします。研究会・研修会・サークル活動等の事業は次のとおりです。

### 今後の活動予定（2010年度）

行事名	内容	日程
組合事務研修会	「年金制度・改正労基法」	9月10日(金)
サークル活動	銚子(秋のハイキング)	10月9日(土)
組合運営・企業経営研究会	「事業承継」(仮)	11月(予定)
視察研修	視察先：船橋機械金属(協)	12月3日(金)
機関紙の発刊	第7号	12月下旬

それぞれの活動の詳細につきましては改めて書面にてご連絡させていただきます。責任者協会では、皆様の組合運営の一助になればと考えておりますので、ご出席頂きますようお願い申し上げます。

又、来年1月7日(金)には、千葉県中小企業団体中央会が主催する新年賀詞交換会が予定されております。文書等は改めてご案内致しますが、是非、ご出席頂きますようお願い申し上げます。

